



「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2022」

【特別賞/ふるさと水と土優秀賞】「緑の世界」

大和郡山市立治道小学校 5年生 村井 晴花 さん

※学年は受賞当時

目次	1. ご挨拶 奈良県土地改良事業団体連合会 会長 奥野信亮	1
	2. 第63回 通常総会 開催	2
	3. 公益財団法人 農業振興会館 令和4年度 農業振興功績者表彰式 開催	3
	4. 令和4年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催	5
	5. 公益財団法人 農業振興会館 理事会・農業振興功績者表彰審査会 開催	
	6. 令和4年度 土地改良区技術実践向上研修会 開催	6
	7. 令和4年度 換地計画実務研修 開催	7
	8. 令和4年度 土地改良換地士資格試験 合格	
	9. 令和4年度 農地地図情報システム操作研修会(個別) 実施	8
	10. 全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎雅夫氏 来県	
	11. 令和5年度 奈良県農村振興予算の概要	9
	12. 全国水土里ネット表彰式	11
	13. 公益財団法人 農業振興会館 令和4年度 最先端農業を学ぶセミナー 開催	12
	14. 農村振興シンポジウムが開催されました。	13
	15. 奈良県農村地域づくり協議会 会員活動の一部をご紹介します。	15
	16. 「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2022」 校内表彰式	17
	17. 令和5年度 新組織体制・新規採用職員を紹介	18
	18. 土地改良に関する法律相談	

ご挨拶

奈良県土地改良事業団体連合会
会長 奥野信亮



若草の季節となりましたが、会員の皆様方におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から皆様には、それぞれの地域で土地改良事業の推進はもとより、農業・農村地域の振興発展にご尽力いただいておりますこと、並びに本会の運営にご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨今の国際情勢から、肥料をはじめ様々な資機材や電力料が高騰するなど農業農村にも甚大な影響が生じ、皆様には大変ご苦労されていることと思います。政府では肥料や飼料価格、電力料などの価格高騰に対する支援対策を実施するとともに、食料安全保障を懸念する声の高まりに応じて食料自給力の強化、激甚化、頻発化する自然災害への対応など、農業農村の持続的発展に欠かせない様々な取り組みを進めており、私も本会の会長、また衆議院議員として、肥料やエネルギー等の高騰対策はじめ、土地改良事業の計画的な推進や農村地域の防災・減災、国土強靱化対策の促進など諸課題への対応に精力的に取り組み、農業農村振興に尽力して参りますので、引き続きご指導を賜りますよう、よろしく申し上げます。

奈良県は比較的恵まれた気象条件のもと、それぞれの地域特性に応じて多種多様な農業が展開され、柿や茶、小菊など全国屈指の生産量と品質を誇る農産物をはじめ、大和野菜や畜産などブランド化された美味しい産物も多数生産されています。また、世界に誇れる歴史遺産が豊富に存在するとともに、京阪神大都市に近接しながら、美しい自然環境や景観など、魅力のある資源に恵まれています。

いよいよポストコロナ時代を迎えますが、地域の美味しい食や食文化、歴史や自然と触れ合いを楽しむ新たな旅行や観光形態が広がっていくものと考えられます。そこで、本県の魅力あふれる資源を活かし、それぞれの地域の伝統的な農産物や郷土料理などの付加価値を高め、さらなる魅力の向上を図ることで生産や販売、販路の拡大など、より儲かる農業の実現に繋がれると考えております。

さらには、高齢者の農作業負担の軽減とともに若い後継者にとっても魅力ある作業環境を整えるため、それぞれの地域の農地や農業の課題に応じ、スマート農業にも対応出来る農地基盤の整備や農業水利施設の更新はじめ、土地改良区の体制強化など、今後も会員の皆様はじめ関係者の声をしっかりと受け止め、本会としてさらなる取り組みの充実を図って参る所存ですので、引き続きのご指導とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念し年度始めのご挨拶といたします。

第63回 通常総会 開催

令和5年3月25日(土)、大和平野土地改良区 大会議室において、93会員の出席（当日出席44会員、委任状49会員）を得て、第63回通常総会を開催しました。



挨拶
奥野 信亮 会長

はじめに、奥野 信亮 会長から、総会にお集まりいただいたお礼と、総会の議案について慎重審議をお願いしたいとの挨拶がありました。

近畿農政局 前田 仁 地方参事官より、農業農村整備事業をはじめ、近畿農政局所管のご支援、ご協力に対するお礼を述べられました。農林水産省では、農業農村整備事業、スマート農業、水田における高収益作物の導入、中山間地域等の活性化などの各種事業を推進していく。土地改良において女性理事の割合を10%以上にする取り組みを促進しており、ご理解・ご協力をお願いしたい。今後も近畿農政局は、現場の方々の意見に十分に耳を傾け、皆様と綿密な連携を図りながら各種施策の推進を行うので、引き続き協力をお願いしたいとの言葉がありました。



祝辞
前田 仁 近畿農政局地方参事官

続いて奈良県食と農の振興部 乾 新弥 部長より、奈良県の農業農村整備事業の推進や農村事業の活性化に対する取り組みの支援に対するお礼を述べられました。特定農業振興ゾーンを今年度末で10地区まで拡大した。各市町村で策定される地区計画に沿って、地域に必要な基本整備を進めていきたい。各市町村の農業用井堰、機能診断等の結果を県で取りまとめた上で対策を進めたい。引き続き県と市町村、土地改良区、土連との連携、協力、支援をお願いしたいとの言葉がありました。



祝辞
乾 新弥 奈良県食と農の振興部長

議事では、上田議長(大和郡山市長)の下、令和3年度事業報告、収支決算や令和5年度事業計画、収支予算などが審議された他、定款の一部変更について、土地改良法・土地改良法施行規則の一部改正に伴い、①奈良土連の事業に「会員から委託を受けて行う土地改良事業の工事」の追加、②理事会・総会の議事録の押印を廃止することなど、全ての議案について原案通り承認を得ました。



議長
上田 清 大和郡山市長

議 事

- 第1号議案 令和3年度事業報告について
- 第2号議案 令和3年度会計収支決算、貸借対照表及び財産目録について
- 第3号議案 令和4年度会計収支補正予算の専決の承認について
- 第4号議案 令和5年度事業計画について
- 第5号議案 令和5年度経費の賦課徴収について
- 第6号議案 令和5年度会計収支予算について
- 第7号議案 令和5年度役員報酬について
- 第8号議案 令和5年度一時借入金の限度額及び借入方法について
- 第9号議案 令和5年度金銭の預入先について
- 第10号議案 定款の一部変更について

公益財団法人 農業振興会館 令和4年度 農業振興功績者表彰式 開催

令和5年3月25日(土)、奈良県土地改良事業団体連合会 第63回通常総会に引き続いて、公益財団法人 農業振興会館 令和4年度 農業振興功績者表彰式を開催しました。

令和4年度 農業振興功績者表彰 受賞者	
優秀賞	今西 高弘
アイデア賞	梅田 勝玄
アグリツーリズム賞	あすかいちご狩りパーク



上段 左から
 高岸農業会議専務理事
 中筋受賞者会顧問
 福岡香芝市長
 東奈良県農協常務理事
 上田大和郡山市長
 乾県食と農の振興部長
 西畑農業共済組合長
 窪田明日香村副村長
 井上受賞者会会長
 菅谷常務理事

下段 左から
 梅田氏
 今西氏
 奥野理事長
 村井副知事
 あすかいちご狩りパーク 石田代表

優秀賞 今西 高弘 様 (大和郡山市)



大和丸なすは、大和の伝統野菜に認定されています。色艶がある・肉厚・キメが細かい・煮崩れがしない・灰汁(アク)がない・種がない・焼いたら皮がやわらかくなる。といった特徴があります。

県農業振興事務所、市、農業委員会と連携しイオン大和郡山店に働きかけ、全国のイオン店舗に先駆けて地場産野菜販売を行い、これが全国イオン店舗における地場産野菜販売のきっかけとなる。現在ではイオン大和郡山店ほかの県内イオン店舗において、大和郡山市物産品である大和丸なすの継続販売を実現し、コロナ禍による東京、京都市場での高級料理店向け出荷減少を、新規出荷先開拓により軽減させた。

JA奈良県大和郡山市経営者クラブ給食部会長として、学校給食への大和丸なす等の地元食材の提供や、地域の食育活動を中心となって進め、また、小学生の農業体験授業や出前授業など積極的に行う。

「大和丸なす」他、「イチゴ」、「イチジク」の大和郡山市特産品3品目を経営の柱とし、産地を牽引すると共に地産地消を進め、地域の農業振興に貢献。

県農業振興事務所、市、農業委員会とともに、さらなる地域の振興を図るため、自ら中核的担い手として、「人・農地プラン」づくりを進め、県の特定農業振興ゾーン設定にも尽力した。

アイデア賞 梅田 勝玄 様 (香芝市)



ため池堤の草刈り労力軽減を図るため、羊を利用するという斬新なアイデアを考案し、平成28年に羊を3頭放牧。現在では14頭に増え、雑草管理の大幅な効率化を実現している。

羊の毛刈り実演を実施し、地元小学生、幼稚園児が羊にふれ合う機会を提供することで情操教育や環境学習に貢献している。

羊が増え、夏場の雑草処理能力が上がるとともに、冬季においては給食センターと連携し学校給食で発生する歩留まり野菜を羊に与えることで、生ゴミの減少（環境負荷軽減）に貢献している。

耕作放棄地の解消に積極的に取り組み、黒豆、味噌用大豆の栽培を行っている。

アグリツーリズム賞 あすかいちご狩りパーク 様 (明日香村)

平成16年、5農園で開始、現在17農園まで拡大しており、村内イチゴ生産者の90%を占める。

予約人数分に応じて開園農園（客受入れ）を当番制で割り振ることで、収穫可能な果実を確実に確保できるため、来園者の満足度が高い。受付業務は、一般財団法人明日香村地域振興公社に委託し、生産者はイチゴの品質向上、生産に専念できる体制を確立。

イチゴ狩りスポットとしてメディアへの情報発信に努め、冬場の明日香村への観光客誘致に貢献しており、村内飲食店や商工業者でイチゴのスイーツフェアが開催される等、地域経済に好循環が生まれている。

毎年オープニングには開園式として、地元の幼稚園児を招待し地域に親しまれる存在となっており、農業体験、食育に貢献している。



いちご狩りのご案内 | あすか夢耕社 - 明日香村地域振興公社(asukadeasobo.jp)

農業振興会館 農業振興功績者表彰について

農業振興会館 農業振興功績者表彰は、令和4年度で33回を迎えました。

私共事務局は、市町村を通じていただいた推薦書を元に資料を作成し、候補者の方や市町村で担当されている方のお話を伺い、事務局内で何度も打ち合わせを重ね、審査会(P5)を経て受賞者を決定しております。

候補者の皆さんは、それぞれ農業に真摯に向き合っておられる素晴らしい方達です。お話を伺い、共感や尊敬の思いで、審査会の資料を作成しています。賞決定後も表彰式当日に配布される概要書や広報誌の原稿を作成します。紙面だけでは、なかなか伝わらない思いもあります。これをきっかけに、興味を持っていただければ幸いです。

この表彰が農業に関わる皆様の活力となるよう、事務局も努力してまいりますので、よろしく願いいたします。

令和4年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催

令和5年2月20日(月)、大和平野土地改良区3階 理事会室において、令和4年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会を開催しました。上田議長（大和郡山市長）の下、議案が審議され、原案通りに可決されました。

議 事

- 第1号議案 令和4年度会計収支補正予算の専決について
- 第2号議案 令和5年度事業計画について
- 第3号議案 令和5年度経費の賦課徴収について
- 第4号議案 令和5年度会計収支予算について
- 第5号議案 令和5年度役員報酬について
- 第6号議案 令和5年度一時借入金の限度額及び借入方法について
- 第7号議案 令和5年度金銭の預入先について
- 第8号議案 第63回通常総会の開催について
- 第9号議案 定款の一部変更について



挨拶
奥野 信亮 会長(リモート参加)



来賓祝辞 乾 新弥
奈良県 食と農の振興部長



公益財団法人 農業振興会館 理事会・農業振興功績者表彰審査会 開催

令和5年2月20日(月)、大和平野土地改良区3階 第5会議室において、令和4年度 公益財団法人 農業振興会館 理事会を開催しました。



奥野 信亮 理事長(リモート参加)

奥野理事長ご挨拶の後、農業振興功績者表彰審査会を行いました。(公財)農業振興会館では、奈良県内において、農業技術の開発、農村環境の整備等に努め、その普及・教育に功績のあった個人、団体に対して農業振興功績者表彰を授与（P3-4）しています。本年度の表彰候補者について、事務局から説明し、審議の結果、表彰者を決定しました。

福井議長の下、議案が審議され、原案通りに承認を得ました。

議 事

- 第1号議案 令和4年度農業振興功績者表彰について
- 第2号議案 寄付の申し入れの承認について
- 第3号議案 令和5年度事業計画並びに会計収支予算について
- 第4号議案 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて



議長 福井 常夫 副理事長

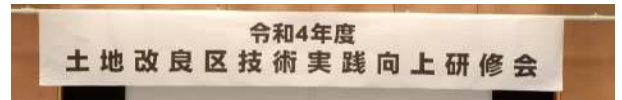


令和4年度 土地改良区技術実践向上研修会 開催

令和5年2月10日(金)、大和平野土地改良区 大会議室において、「令和4年度土地改良区技術実践向上研修会」を開催し、土地改良区の役職員等62名が参加されました。

はじめに中筋副会長（西和土地改良区理事長）から、出席者の方々に联合会への支援と協力をお願いし、本日の研修会を今後の土地改良区技術力向上のため活かしていただきたい旨の挨拶がありました。

研修会終了後、上田美加子理事より女性活躍の推進に向けた取り組みについて説明するとともに、本日の講師の方々に御礼の挨拶がありました。



1. 農業者に対する融資について

日本政策金融公庫奈良支店農林水産事業 融資課長 渡部 隆

認定農業者、認定新規就農者等への支援として、いちごのミニ植物工場の建設に必要な設備資金の支援、事業再構築補助金を活用した米粉製粉工場の建設並びに機械導入に必要な設備資金支援などの融資事例が紹介されました。



2. 土地改良区の役員の役割について

近畿農政局土地改良管理課 土地改良指導官 楠本 和也

土地改良法・運営・役員の役割（理事・監事の職務）・不祥事件の未然防止・近畿農政局管内の土地改良区の現状・水路における転落事後の現状と事故対応について・役員の職責について等、今後の土地改良区の運営に大切な事の説明がありました。

3. 組織の中で男女共同参画を進めるということ

清水建設株式会社 人事部 ダイバーシティ推進室 室長 西岡 真帆

男女共同参画について、清水建設(株)の取り組みが紹介されました。「チャンスは男性と同じように差し上げる」と経営者トップが社員に向けてメッセージを発信されたことを契機として、何事についても男性と女性が一緒に進めていくことが大事であると感じたこと。アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）を知ることで思い込みが見えてくること。また、「水土里ネット女性の会」についても、男性が自分の事であると捉えて一緒に進めるべきである。土地改良区の女性理事の登用については、今はまだ実力のある女性でも理事になれないことがあるけれども、女性もスキルを磨いて組織に貢献する意識を持ち続けることが重要であると話がありました。



令和5年4月1日付けで
全国土地改良事業団体連合会
の理事に就任されました。



4. 土地改良区の男女共同参画について

近畿農政局土地改良管理課 係長 細溪 拓男

土地改良区における女性理事の割合の現状を紹介。女性の理事登用をはじめとする女性活躍推進により、組織体制の活性化等の良い影響が期待される。県・農政局・土地連が設置している『土地改良区運営基盤強化協議会』を主体として各土地改良区の組織を支援し、土地改良区の男女共同参画について推進していく必要がある、と説明がありました。

令和4年度 換地計画実務研修 開催

令和5年2月21日（火）・22日（水）の2日間にわたり、大和平野土地改良区事務所 3階 大会議室において、令和4年度換地計画実務研修を開催いたしました。

講師には、全国土地改良事業団体連合会中央換地センターの松尾所長、平木主任をお招きしました。

本研修は、土地改良区体制強化事業における「研修・人材育成」の一環として、換地事務の促進に資するため、新規に換地事務を担当する技術者を対象に実施するもので、松尾講師より「土地改良法と換地理論」、平木講師より「換地計画」について、関係法令の改正などを踏まえ、より実務に即した知識を、とても解りやすくご教授いただきました。

本研修会が、今後換地業務に携わる皆様の日々の業務の一助となれば幸いです。



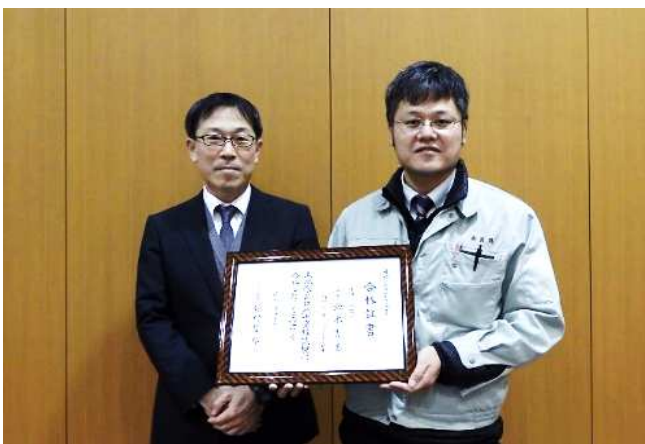
第1日目「土地改良法と換地理論」（松尾講師）



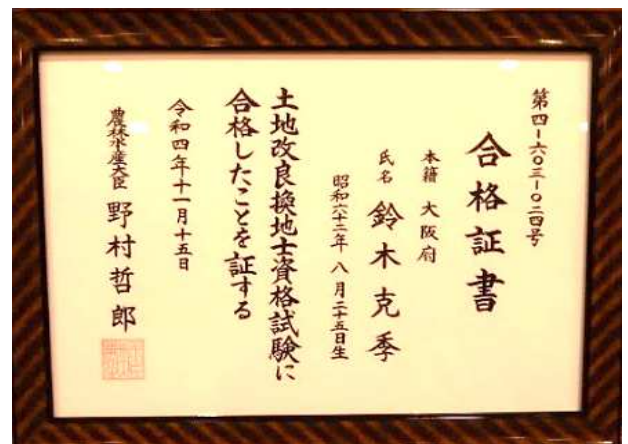
第2日目「換地計画」（平木講師）

令和4年度 土地改良換地士資格試験 合格

令和4年度土地改良換地士資格試験の合格者が、令和4年11月15日に公表され、奈良県中部農林振興事務所 農村地域振興課の鈴木 克季 主査が合格されました。奈良県土地改良事業団体連合会にて、奈良県中部農林振興事務所 農村地域振興課 藤田 浩之 課長より合格証書が授与されました。誠にありがとうございます。



奈良県中部農林振興事務所
農村地域振興課 鈴木 克季 主査



令和4年度 農地地図情報システム操作研修会（個別） 実施

農地地図情報センターでは、新型コロナウイルス感染症の蔓延を期に研修会の実施方法について見直しを行い、今後は個別研修会を実施することとなりました。令和4年度では、各利用者様にアンケート調査を行い、先駆けて2機関の個別研修を実施しました。令和5年度も引き続き実施してまいります。

今後も個別研修会を積極的にご利用いただき、本システムを有効に活用していただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【農地地図情報システムについて】

デジタルオルソ（航空写真真データ）、地形図、農地筆図等の地図情報と所在地番、地目、地積等の属性情報及び農業用施設の情報等を一元管理できるシステム（GIS）です。

【研修会について】

- ◇ 1回につき、2時間程度を予定しております。
- ◇ 研修は、作図の方法、各筆ごとの色分け、地筆データ等属性データのインポート・エクスポートや編集等の操作演習を中心に実施しております。



橿原市都市デザイン部 農政課 様



河合町まちづくり推進部 地域活性課 様

全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎雅夫氏 来県

宮崎雅夫参議院議員が2月16日(木)来県し、県内各地を訪問されました。

令和4年9月にオープンした、なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）附属セミナーハウスでは、スマート農業展示ほ場の視察をされ、五條吉野土地改良区 仲山前理事長・堀専務、堀内果実園 堀内社長と意見交換されました。その後、白川溜池土地改良区連合にて国政報告、吉本理事長をはじめ役員の皆様と意見交換等が行われました。その後、なら歴史芸術文化村にて奈良県肥料商業組合の方々とも意見交換されました。

宮崎議員には限られた時間の中で地域の様々な意見や要望等に耳を傾けていただき、その対応策や今後の取り組みなどをお話いただきました。

—なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)附属セミナーハウス—



— 白川溜池土地改良区連合 —



令和5年度 奈良県農村振興予算の概要

「奈良新」都づくり戦略2023「関連施策と連携し農地マネジメントを踏まえた農地活用と豊かな農村の振興を図る

令和5年度 予算額

令和5年度当初	2,447百万円
2月補正	1,128百万円
合計	3,576百万円
【公共事業】	
・補助公共事業	1,356百万円 (2月補正1,079百万円)
・県単独公共事業	120百万円
・直轄事業負担金	183百万円 (2月補正49百万円)

※新 地区は予定

食と農の振興部
農村振興課

主要な対策

■ 1. 特定農業振興ゾーンの整備

224百万円（2月補正115百万円）

各ゾーンの目標達成のために、高収益作物の導入、スマート農業や新技術活用などあわせ、ほ場整備や用排水路整備など、必要な基盤整備を県が事業主体となり実施。



施工中の状況
(丹原地区・五條市)

■ 2. 主要産地（リーディング品目など）の発展

443百万円（2月補正121百万円）

柿（五條吉野地区）、茶（大和高原北部地区）、高原野菜（大和高原南部地区）、小菊（西和地区）などの主要産地を、時代のニーズにあった営農に対応と、さらなる発展のため農地、農業用施設の更新整備を実施。



自動かん水制御システム導入試験
(五條吉野地区)

■ 3. ため池の防災・減災対策

499百万円（2月補正824百万円）

防災重点ため池（県内971箇所）を対象に、劣化調査や改修整備とあわせ、管理体制の支援を実施。

河川部局と連携し、ため池改修工事にあわせて治水容量を確保することで、流域治水に寄与。

■ 4. 農業用水利施設の長寿命化対策

372百万円（2月補正69百万円）

老朽化により営農や治水に影響を来している農業用井堰の更新を計画的に実施。

吉野川分水や一の木ダムなど基幹水利施設を、長寿命化対策によりライフサイクルコストを低減。

■ 5. 魅力ある農村地域づくり 578百万円

日本型直接支払制度、ふるさと水と土保全基金などを活用し、地域の活動組織を支援。地域計画（人・農地プラン）との連携、6次産業化や都市農村交流等により、魅力ある農村づくりを推進。

主な取組

○県営ほ場整備事業 121百万円（補正95百万円）

百済川向地区（広陵町）20.8ha、丹原地区（五條市）10.8ha
 （実施内容）区画整理、用排水路、農道整備、高収益作物導入施設など

○県営畑地帯総合整備事業 85百万円（補正20百万円）

法貴寺地区（田原本町）38.0ha、伊那佐東部地区（宇陀市）25.8ha
 （**新**）上庄・梨本地区（平群町）、（**新**）八田地区（田原本町）
 （実施内容）農業水利施設の更新、ICT水管理システムの導入など

○奈良らしい農村基盤モデル事業 18百万円

（実施内容）新たなゾーン地区設定に向けた調査・計画



高収益作物の試験栽培
 （丹原地区・五條市）



ドローンによる農薬散布試験
 （百済川向地区・広陵町）

○県営畑地帯総合整備事業 38百万円（補正63百万円） ○県営一般農道整備事業 207百万円

【柿】湯塩地区（五條市）78.2ha
 栃原地区（下市町）71.2ha
 （実施内容）パイプライン整備による用水供給
 【高原野菜など】

大和高原南部地区（宇陀市・桜井市）85.7ha
 （実施内容）貯水池やポンプの改修整備

○県営ほ場整備事業 116百万円（補正58百万円）

北村地区（奈良市）



給水スタンドの設置
 （湯塩地区・五條市）

○基幹水利施設管理事業 47百万円

大和高原北部地区、五条吉野地区

○県営農地防災整備事業（ため池整備） 78百万円（補正164百万円）

葛城山麓地区（葛城市）、桜池（斑鳩町）
 高山地区（生駒市）、（**新**）香芝地区（香芝市）

○団体営農地防災事業 421百万円（補正660百万円）

ため池管理体制支援調査（県）
 ため池パトロール
 ため池耐震調査、劣化調査（奈良市ほか）



余水吐の切り欠きによる
 治水容量確保
 （上新池・葛城市）



奈良県ため池支援センター設置
 （令和3年7月）

○県営農地防災事業（河川応急） 32百万円

尼ヶ辻地区（奈良市）

○農業水利施設整備・診断事業 158百万円（補正19百万円）

農業用取水堰調査（河合町ほか）

○国営施設応急対策事業費負担金 31百万円（補正20百万円）

五条吉野地区



城内井堰（河合町）



尼ヶ辻井堰（奈良市）

○農村資源を活用した地域づくり事業 10百万円

○中山間地域活力アップ事業 26百万円

○多面的機能支払交付金事業 279百万円

24市町村278組織

○中山間地域等直接支払交付金事業 264百万円

14市町村299組織



農村振興シンポジウムの開催



棚田地域指定（明日香村等）

全国水土里ネット表彰式

令和5年3月23日（木）、東京都千代田区シェンバツハ・サボーにおいて、「全国水土里ネット表彰式」が開催されました。

「全国水土里ネット表彰式」は、土地改良事業を通じ地域農業の発展に優秀な成果を収めているなど長年にわたり運営が良好である個人と団体の表彰（全国土地改良功労者等表彰）と、農業農村整備事業を契機として生産性の高い農業を実現している地区及び個性ある地域づくりを進めている団体に対して表彰（農業農村整備優良地区コンクール）を行うものです。

皆様、栄えある受賞、誠におめでとうございます。今後の益々のご発展、ご繁栄をご祈念申し上げます。

第64回 全国土地改良功労者等表彰 全土連会長賞(個人表彰)



大和高原南部土地改良区 山本 喜次 前事務局長



第64回 全国土地改良功労者等表彰 全土連会長賞 (団体表彰)



筒井土地改良区
伊谷 維男 理事 堀江 正次 副理事長



令和4年度 農業農村整備優良地区コンクール 農業振興部門 農村振興局長賞 (五条吉野地区)



五条吉野土地改良区 寺本 保英 理事長



公益財団法人 農業振興会館 令和4年度 最先端農業を学ぶセミナー 開催

令和5年3月10日(金)、大和平野土地改良区 大会議室において、「令和4年度 最先端農業を学ぶセミナー」を開催しました。

1. 「アシストスーツについて」

アシストスーツ協会 近藤 尚也 事務局長より、アシストスーツ導入検討のポイントについてお話いただきました。

「アシストスーツとは、パワーを増大するものというよりは、体を補助的に助けるものであり、使用することにより長時間継続する作業負担の軽減、生産性の向上などが期待されます。

農業分野におけるアシストスーツの導入事例として、りんごや梅の剪定作業、施設園芸の事例などがあります。

アシストスーツ導入においては、改善すべき負荷はどの部分であるかを分析し、多様なアシストスーツの特性を理解した上で、作業に合致したアシストスーツを選定することが大切です。」

セミナーでは、実際にアシストスーツの着用体験が行われました。

アシストスーツを着た状態で腕を上げたり、重いものを持ち上げる作業を行い、初めての体験で負担の軽減に驚かされている参加者が多くおられました。



アシストスーツ協会 事務局長
株式会社 ガイドー 執行役員営業二部
近藤 尚也 部長



株式会社加地 法人営業グループ
レイボ販売担当 小島 悠斗 氏



2. 「スマート農業の実現に向けた取り組みの現状」

株式会社 サタケ 植向 直哉 主事より、お米の収量・品質向上に向けた取り組み（スマートライスセンターシステム）や、自動給水機(ポセイデン)の紹介があった他、株式会社サタケが、広島県東広島市豊栄町の農家の方々と設立した集落営農法人である、(株)賀茂プロジェクトの活動についてもご紹介されました。

セミナーでは、自動給水機(ポセイデン)について、実際に操作しながらの説明が行われました。

自動給水機(ポセイデン)は、開水路からほ場への水供給をコントロールすることが可能であり、水管理作業の省力化が図れます。水位センサーで目標とする水位の上限と下限を決めると、乾電池を動力源としたワイヤの操作で昇降管を上下させることで、自動的に給水・止水を繰り返します。

参加者は熱心に耳を傾け、活発な意見交換が行われました。



株式会社 サタケ
経営本部グローバル・イノベーション推進室
植向 直哉 主事



農村振興シンポジウムが開催されました。






令和5年2月4日（土）、コロナ禍で農村共同活動の自粛や都市農村交流活動が停滞している中、地域の魅力の再認識及びコロナと共存した活動再開のきっかけづくりとして、また多面的機能支払交付金に取り組む地域において、農村資源の保全活動のみならず、都市農村交流を含む地域の活性化に向け、活動の質的向上を図るとともに都市住民に対し農村地域への理解を深めてもらうことを目的としたシンポジウムが奈良県コンベンションセンターで開催されました。

天平ホールでは、奈良県農村振興優良組織表彰の表彰、笑い飯哲夫さんによる基調講演やパネルディスカッション、多面的機能支払交付金活動組織からの参加者に対し、交付金の要件「機械の安全使用に関する研修」に該当する講習が行われました。

屋外の天平広場では、賑わいづくりとして奈良県農村地域づくり協議会の活動や奈良県農村振興課所轄事業、土地改良区の活動についての紹介、奈良の食をアピールするためのブースが出展されました。

奈良県農村振興優良組織表彰

県内の農村地域活動優良地区として活動組織の中から田原ふる里環境保全向上活動協議会（奈良市）、多集落を守り美しい村づくり隊（田原本町）、桐山地域環境保全連合会（宇陀市）の3地区が表彰されました。

田原ふる里環境保全向上活動協議会	多集落を守り美しい村づくり隊	桐山地域環境保全連合会
<p>奈良市田原地域の19集落がひとつの組織として活動。活動当初から広域化に取り組む。また、「中山間直接支払制度」においても、集落機能強化加算に取り組み、組織の強化に向けた活動を行っている。</p> 	<p>田植えや稲刈り体験など、都市農村交流活動を積極的に行い、婦人部による伝統料理の継承や、6次産業化を目指して地元で収穫した米や小麦を使用した加工品の販売も行っている。</p> 	<p>遊休農地の解消に向け、そばを栽培し、美しい田園風景の景観形成を行うとともに、収穫したそばは、地域行事においてそば打ちし、住民に振る舞うなど、農村環境の向上に向けた取組を積極的に行っている。</p> 



多面的機能支払交付金活動組織講習会

『農業機械の安全使用について』

奈良県森林組合連合会 中井 理仁 業務課長

基本事項としてヘルメット、フェイスガード、イヤーマフの装着について、刈払機の使用法、点検や整備の仕方、作業上の安全のポイント、作業の手順、注意事項などを日頃の使用の中で見落としがちなポイントなどを交えながらの講習会が行われました。

講習内容にうなずいている人も多く、熱心にメモを取りながら耳を傾けている姿もありました。

**作業方法の基礎を学び、作業中の事故防止！
ルールを守ってゼロ災害に努めましょう！**



賑わいづくり（天平広場） 奈良県農村地域づくり協議会の活動PR

奈良県農村地域づくり協議会からは、①美しい多地区の田園風景を楽しむ会、②農ある高取推進協議会、高取町ワークシェアリング地域づくり協議会、③南檜垣地域づくり協議会、④明日香村えいのうキトラ協議会、⑤おおいわの里山を守る会が出店し、⑥協議会事務局が活動に関する農産物加工品の展示を行いました。



基調講演

『笑い飯 哲夫の農業のススメ
～農村地域には魅力がいっぱい～』



子どもの頃から、農業を営む祖父の手伝いをしていたという笑い飯の哲夫さんは、近年実家の農業を引き継がれ、野菜やお米の栽培から販売までこなされています。ジェスチャーを交えながら、実際の農作業経験を基に作物を作る喜びや苦労話をされました。会場との軽快なやり取りで笑いに包まれる中、農業に対する気持ちを“木”の文字に例えて、地面から見えない根っこところで頑張っている事に感謝、先人の知恵に若い頃から携わらせてもらっていることに感謝と話されていたのが印象的でした。また、農業の活性化に向けて若い世代に強く関心を持ってほしい。農業をやっていたら楽しいことも出会いもあるし、勉強にもなる。儲ける為の取り組みが必要だと話されました。

パネル
ディスカッション

『農で奈良を元気に
～農村と都市を結ぶ架け橋をめざして～』



(写真左から)コーディネーター役の近畿大学農学部農業生産科学科准教授 大井卓史先生を中心に、パネリストの木谷ワイン代表 木谷一登氏、食肉製造販売・農家レストランばあく代表 泉澤ちよ子氏、多集落営農組合女性部 部長 中井登志子氏がそれぞれの活動紹介、コロナ禍や社会情勢の変化の中で組織として地域として活動されていて直面した課題とそれらに対応してきたこと、役立ったこと、都市と農村をどう結び、農村振興につなげるかを話されました。最後に、いろいろな方とうまく連携を取り、繋がり合いながら、前向きにどんな立場でどんな状況であっても進めていく事が大切だと締めくくられました。

奈良県農村地域づくり協議会 会員活動の一部をご紹介します。

■ 天ノ香具山南協議会 ■

海を渡る蝶、アサギマダラを呼ぶ為に
フジバカマを香具山公園前で栽培。
橿原市南山町の会員の畑の空きスペースを利用して、季節ごとに
花ハスやコスモスを植えて
周辺住民の方々や
立ち寄りの方々に
楽しませています。



■ 美しい多地区の田園風景を楽しむ会 ■

11/5(土) 『安萬侶さん米“稲刈り体験”』

多集落営農組合の倉庫及び倉庫前の田んぼにおいて、
稲刈りの他、サツマイモ堀りを行いました。
新米おにぎりや豚汁、ネギ焼き等で秋の味覚も堪能しました。



■ 葛城山麓地域協議会 ■

11/23(水・祝) 『葛城山麓ウォーク』

葛城山麓地域の7つの集落を巡る約10kmの
ウォーキングイベントです。

各集落の特産品販売、
収穫体験、ボランティア
ガイドによる解説など、
葛城山麓わくわく市
(梅乃宿酒造コラボ)
と併せて開催されました。



■ 下市町平原区むらづくり委員会 ■

11/6(日) 『レモングラスを使ったワークショップ』

農薬や化学肥料を使わずに育てた安心・安全なレモングラスの
蒸留水と精油ができるまでの様子を学び、乾燥させたレモングラスを使ったしめ縄作りワークショップ、蒸留水と精油を使ったアロマスプレー作りと、盛りたくさんの内容でした。



■ 農ある高取推進協議会 ■ & ■ 高取町ワークシェアリング地域づくり協議会 ■

12/10(土) 『田んぼマルシェ』

市尾墓山古墳周辺において、お餅の袋詰めやスリッパ飛ばしなど遊びコーナーがあり、子ども達の楽しみがいっぱい詰まったお祭り。ごんだ鍋のふるまいやニコニコ抽選会、農産物販売、たき火、スナップえんどう植えつけ体験など行いました。



■ 山添村波多野地区活性化協議会 ■

『かすががーでんのイベント』

5月にはお茶作り体験、7月には紅茶作り体験を実施しました。また12月には冬野菜の収穫体験やしめ縄作り体験、こんにやく作り体験を実施しました。
参加者の方々は、
普段できない体験に
喜んでいただきました。



■ 山の辺の道周辺農村づくりネットワーク ■

11/5(土) 『渋抜き・干し柿づくり』

萱生柿オーナー園において、専門の講師による指導の下、平核無柿の収穫、渋抜き、干し柿づくりが行われました。



「奈良県農村地域づくり協議会」は、都市農村交流や特産品づくり、地域ぐるみで農作業を行っています。令和5年度も元気いっぱいの農村をめざして活動して参ります。

■南檜垣地域づくり協議会■

12/10(土) 『お正月講座&しめ縄づくり体験会』

南檜垣営農組合倉庫において、簡単なお正月講座、山添村で大切に作られた稲わらを使ったしめ縄づくりや餅つき体験を行い、餅が振る舞われました。



■ゆめ野山地域協議会■

春の田植え後に行う「さなぶり」や、秋に行う「収穫祭」では、色々なイベントを催し地域住民との交流を深めています。また、春には地区農道周辺に花植えを行い地域住民と協力し景観作りを行っています。



■十市町地域協議会■

10/29(土) 『十市収穫祭』

稲刈り・芋掘り体験が行われました。地元の親子や町内の事業者、社会福祉施設から約230人が集まりました。



■柝原柿の里地域づくり協議会■

4/29(金)～5/22(日) 『シャクヤクガーデン』

休耕地に薬用作物のシャクヤクを栽培。「シャクヤクガーデン」では、好きなシャクヤクの花を20本摘み取り、持ち帰ることができます。

5/3(火)には、観光協会物産販売会も開催されました。



■ロマンピア月ヶ瀬管理運営組合■

11/20(日) 『秋の月ヶ瀬茶畑ウォーク』

1府3県の山並みを眺めながらクイズにチャレンジし、紅葉の茶畑を約4.5km歩くウォーキングイベントです。ゆめっこ特製弁当、月ヶ瀬の新鮮な農産物のお土産付きで開催されました。



■町思会■

12月開催の奈良マラソンに併せて、コース周辺に稲わらや竹を使用したアート作品を作成・展示をしています。ランナーも足を止めて作品をカメラに収めてくれるので、やりがいとなっています。古代米の田植えから刈り取りまで、ジャガイモの種芋植え付けから収穫までを体験したり、みかん・イチジクの収穫体験なども行っています。



■明日香村えいのうキトラ協議会■

農村資源の掘り起こしとして、生産者が少なく、需要のある品目として、新たな薬草（シャクヤク）の栽培実証をしています。シャクヤクの開花状況により摘み取り体験等を集落住民を対象に試験的に実施しています。



■おおいわの里山を守る会■

6/12(日) 『ジャガイモ収穫祭』

野菜ソムリエプロによる「世界から愛される!?おいも『じゃがいも』」と題したミニ講義の後、参加者全員で3月に植えたジャガイモの収穫を行いました。地域野菜の直売、フリーマーケット、リサイクル&ハンドメイドの販売会も行われ、多くの来訪者でにぎわいました。



「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2022」校内表彰式

本年度開催された「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2022」には、全国から2,993点の作品応募があり、その中から入賞31作品、地域団体賞44作品、入選126作品、佳作203作品が選考されました。

奈良県内小学校からは11作品の応募があり、その中から特別賞/ふるさと水と土優秀賞1作品、水土里ネット奈良会長賞1作品、入選1作品が選ばれました。

後日、大和郡山市立治道小学校、大和高田市立盤園小学校にて、受賞者の方々へ表彰状が手渡されました。

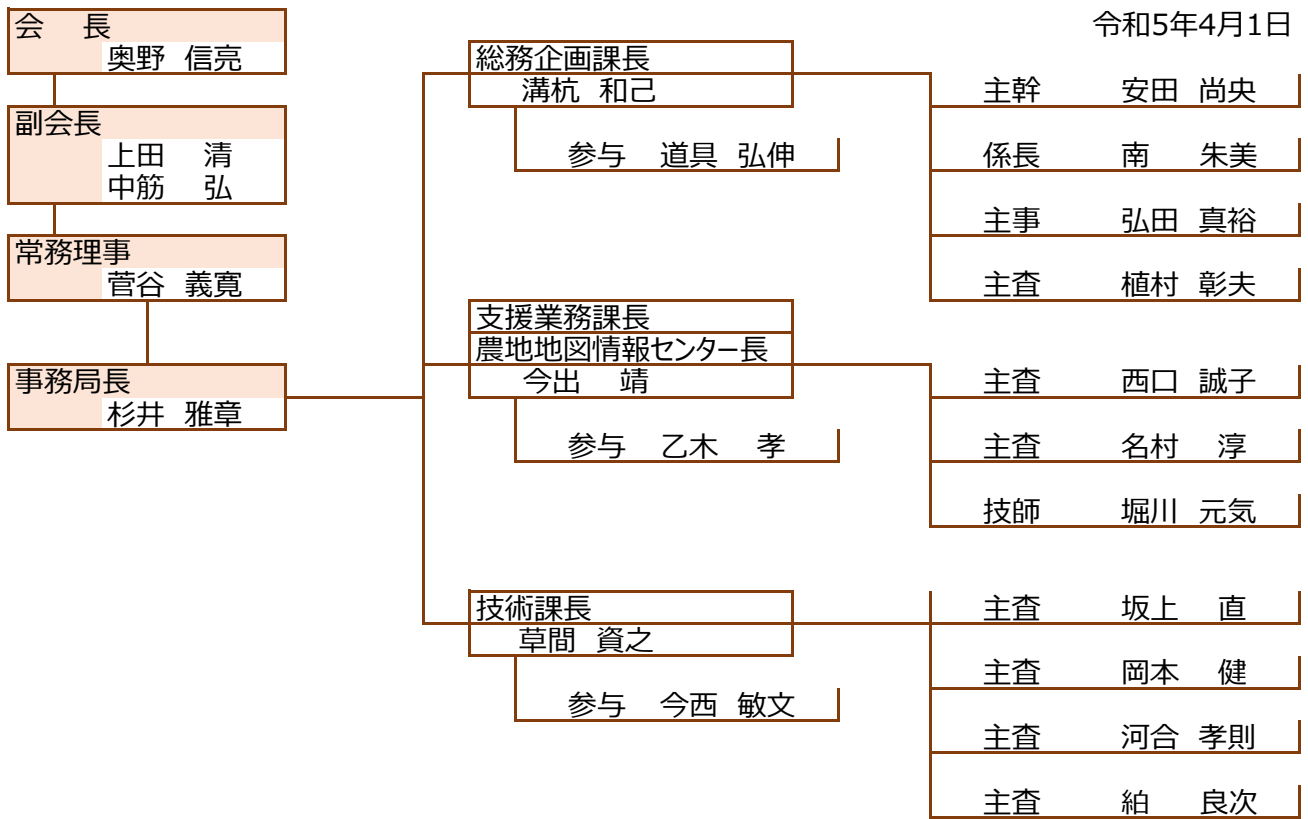
ご応募をいただいた皆様、ありがとうございました。来年度もたくさんのご応募をお待ちしております。

※学年は受賞当時

特別賞/ふるさと水と土優秀賞	水土里ネット奈良 会長賞	入選
<p>「緑の世界」 大和郡山市立治道小学校 5年生 村井 晴花 さん</p>  <p>(本誌表紙掲載)</p>	<p>「一日おへんろばし」 大和郡山市立 治道小学校 3年生 村井 友樹 くん</p> 	<p>「トラクターのお手伝い」 大和高田市立盤園小学校 1年生 名倉 悠晴 くん</p> 
 <div data-bbox="167 1736 491 1960" style="border: 2px solid orange; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>おめでとう ございます。</p> </div> 	  	

令和5年度 新組織体制

令和5年4月1日



新規採用職員の紹介

総務企画課
課長
みぞぐい かずみ
溝杭 和己



令和5年4月1日付けで奈良県土地改良事業団体連合会に採用されました溝杭和己と申します。新規採用で奈良県農政課に配属以降、農林関係の仕事から離れていましたが、令和元年度から2年間、畜産課長として鳥インフルエンザ等を経験する中で、農業を続けることの難しさを痛感しました。土地改良事業については、皆様に教えてもらいながら勉強している最中ですが、これまでの経験を活かせるよう取り組んでいきたいと思っております。今後とも、会員の皆様方からのご指導のほどよろしくお願い致します。

土地改良に関する法律相談

本会では、法的な判断が必要とされる土地改良区の案件について、令和5年3月より顧問弁護士による法律相談を始めました。
※県に対する許認可(定款変更の手続きなど)等の行政事務は除きます。

実施日： 令和5年5月17日(水)・令和5年6月14日(水)
 令和5年7月19日(水)・令和5年8月24日(木)
時 間： 13:30～16:30
場 所： 大和平野土地改良区事務所 3階会議室
弁護士： おおみね法律事務所 石黒 良彦 氏
申込み： 奈良県土地改良事業団体連合会 総務企画課 TEL:0744-29-1310



令和5年度行事予定

開催月	会議・行事名	開催(予定)場所
4月10日(月)	奈良県農業振興功績者表彰受賞者会総会・研修会	大和郡山市
5月下旬	奈良県農村地域づくり協議会通常総会	大和平野土地改良区
5月下旬	公益財団法人 農業振興会館 理事会・評議員会	大和平野土地改良区
6月予定	国予算にかかる政策提案・要望活動	東京都
6月15日(木)	農業農村整備の集い	東京都
7月予定	土地改良区技術実践向上研修会	大和平野土地改良区
7月下旬	近畿の農業・農村の振興に関する提案・要望活動	京都府
7月下旬	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会・決算理事会	大和平野土地改良区
8月予定	奈良県農業農村整備事業推進協議会 総会	大和平野土地改良区
9月下旬	奈良県多面的機能支払推進協議会通常総会	大和平野土地改良区
9月予定	奈良県土地改良区連絡協議会 総会	大和平野土地改良区
10月10日(火) ～12日(木)	全国土地改良大会福井大会	福井県
11月7日(火)予定	農業農村整備の集い	東京都
11月予定	国予算に係る政策提案・要望活動	東京都
11月下旬	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会・理事会	大和平野土地改良区
11月上旬	公益財団法人 農業振興会館 美アップ農村・レディセミナー	奈良市
2月	換地計画実務研修会	大和平野土地改良区
2月下旬	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会・理事会	大和平野土地改良区
2月下旬	公益財団法人 農業振興会館 理事会・功績者表彰審査会	大和平野土地改良区
2月下旬	公益財団法人 農業振興会館 最先端農業を学ぶセミナー	大和平野土地改良区
3月23日(土)	第64回 奈良県土地改良事業団体連合会 通常総会	大和平野土地改良区
3月23日(土)	公益財団法人 農業振興会館 令和5年度 農業振興功績者表彰式	大和平野土地改良区

※ 今後、変更する場合があります。

● 編集後記 ●

新型コロナウイルスも、5月から5類に引き下げられるということで、令和5年度はウィズコロナに向けての活動がはじまります。本会といたしましても感染症対策をとりながら様々な活動に取り組んで参ります。また、令和8年度に誘致します全国土地改良大会の準備チームを設けて、誘致に向けた取組をはじめたいと思いますので、皆様方のご協力をお願いします。(編集部)